

平成 29 年 8 月 10 日
株式会社日本政策金融公庫

香港最大級の国際食品見本市において、日本農産物・食品輸出を支援
～日本食材を世界へPR～

日本政策金融公庫(略称:日本公庫)は、香港で開催される香港最大級の国際総合食品見本市「Food Expo 2017」に「日本公庫お取引先用ブース」を出展し、国産農水産物・食品の輸出を支援します。

「日本公庫お取引先用ブース」(以下「同ブース」)は、日本貿易振興機構(略称:ジェトロ)が運営するジャパンパビリオン内に設置され、日本公庫のお取引先の農業者・食品企業4先(昨年度 13 先)が、国産和牛、日本茶、海産物などを出展します(出展者・出品物の一覧は別紙)。

なお、日本公庫は、2014 年から本ブースを出展し、今回で4回目の出展になります。

日本公庫は、意欲的に輸出に取り組むお取引先に対して商談の場を提供し、ジェトロと連携しながら、出展前の準備、会期中のサポート、事後フォローまで一貫した支援を行うことで国産農水産品の輸出を後押しします。

農林水産業を成長産業とするために、国産農水産物・食品の「輸出」を促進することが国の重点的な取組みに位置づけられているなか、日本公庫はお取引先の海外展開を引き続き積極的に支援していきます。

○ Food Expo 2017 概要

イベント名 : Food Expo 2017

会 期 : 2017 年 8 月 17 日(木)～8 月 21 日(月)

会 場 : 香港コンベンション&エキシビション・センター

主 催 者 : 香港貿易発展局(HKTDC)



(会場の様子)

(2016 年実績) ※主催者発表実績

出展社数 : 1,391 社・団体 (26 ケ国・地域)

来場者数 : 490,000 人 (うちトレードバイヤー数:20,717 人 / 62 ケ国・地域)

○ ジャパンパビリオン概要

会 期 : 2017 年 8 月 17 日(木)～8 月 19 日(土)

会 場 : 香港コンベンション&エキシビション・センター

主 催 者 : 日本貿易振興機構(ジェトロ)

※ジャパンパビリオン内に日本公庫お取引先向けブースを設置



(ジャパンパビリオンの様子)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 広報部(担当:横山、山口) Tel:03-3270-1266

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

出展者・出品物一覧

No.	①	②
企業名	(株)一栄食品 (愛知県春日井市)	(株)平松食品 (愛知県豊橋市)
出品物	「焼帆立貝」 	「つくだ煮調味料」 
会社概要	1992 年設立。海産物珍味、ナッツ、菓子類等の製造・加工・卸を行う。 2015 年に新本社工場（春日井市）を建設し、生産能力を拡大。既存の本社工場、九州支社工場と合わせ、アジア向け輸出や新製品の製造を強化。商品開発、品質管理にこだわり、衛生的で安全な食品を製造。	1922 年創業。日本伝統食品のつくだ煮を製造し、量販店、生協、コンビニエンスストア等へ販売。 食品安全の国際規格 ISO22000 を国内で最初に認証取得。2017 年には FSSC22000 の認証も取得。また、海外での食品品評会「モンドセレクション」で 13 年連続金賞以上の賞を受賞。

No.	③	④
企業名	(有)小田畜産 (鹿児島県南さつま市)	(株)和香園 (鹿児島県志布志市)
出品物	「鹿児島県産黒毛和牛、及びその加工品」 	「日本茶、抹茶、フレーバーグリーンティ」 
会社概要	1996 年設立。南九州の温暖な気候と豊かな自然に囲まれた鹿児島県の“知覧”に農場を所有。45 年前から生餌を使用した飼育方法を取り入れ、「小味のある牛肉」小田牛を生産。年間約 2,400 頭出荷し、衛生管理面から飼料、飼育方法に至るまで全ての過程に時間と労力をかけ、良品質・安心・安全にこだわる。	化学農薬に頼らない自然の生態系に近い環境で自社の茶畑で茶葉を生産し、製茶・仕上げ・販売までを一貫して行う。 国際的にも厳しいと言われる EU や台湾の農薬規制にも対応可能な煎茶や抹茶等の輸出実績有。2016 年には、国際的な食品安全マネジメントシステム (FSSC22000) を取得。

(参考) 日本公庫(農林水産事業)の輸出支援について

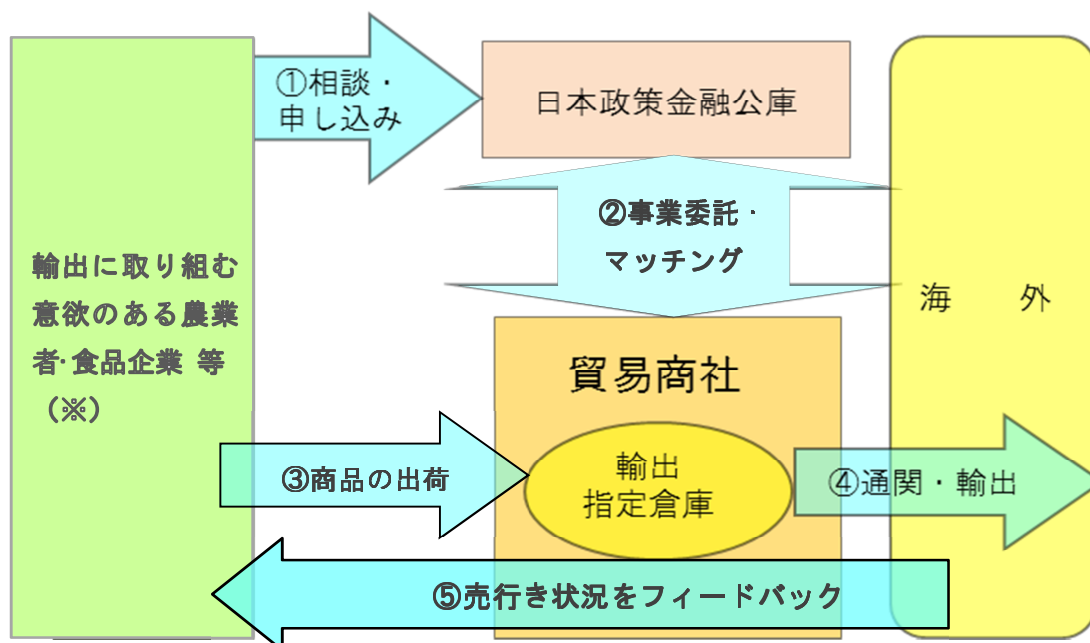
○トライアル輸出支援事業

日本公庫農林水産事業は顧客支援の一環として、農産物などの海外販路開拓を後押しする「トライアル輸出支援事業」を実施しています。

「トライアル輸出支援事業」は、輸出に取り組む意欲のある農業者・食品企業などの販路開拓を後押しするため、日本公庫が輸出前の準備から、輸出手続き、販売まで一貫した輸出の取組みを支援し、海外での売れ行き状況をフィードバックする事業です。

平成 28 年度の支援実績は、輸出先 6 ヶ国・地域、件数 37 件となり、平成 25 年度に取組みを開始してからの支援件数は 154 件となりました。

【トライアル輸出支援事業 スキーム図】



※ [支援対象者]

- ①農水産業者又は食品企業で、日本公庫農林水産事業資金のご利用のある方
- ②これまで輸出実績がない国に対して、輸出に取り組もうとしている方

【具体的な支援の流れ】

- ・ 日本公庫が、輸出に意欲のある農水産業者・食品企業と貿易商社とのマッチングを行い、貿易商社が事前にトライアル輸出が可能かどうかの見極めを実施。
- ・ 輸出可能と判断した場合には、貿易商社が以下の(a)～(d)まで一貫したサポートを実施。
 - (a) 輸出前の事前準備（ラベル表示作成指導等）支援
 - (b) 検疫や税関における各種の手続き支援
 - (c) 海外の販売先との商品価格交渉などの側面支援
 - (d) 輸出後の販売状況のフィードバック